

令和4年度 児童発達支援評価表 【事業者向け】

公表：令和5年3月20日

多機能型事業所 てとて(児童発達支援)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	対策等
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8			・1つの部屋のみではなく、用途に合わせた部屋の使い分けの工夫がなされている。	
	②	職員の配置数は適切であるか	8			・余裕のある職員配置人数であり、1人ひとりにしっかりと関われる体制が整っている。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	8			・個人のスペースを設けることで、一人ひとりに合わせた環境が整っている。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8			・各々が利用児童のことを考え、清潔且つ心地よい空間を作ろうとしているが、互いの意見や発想を出し合い、現状に満足せずに寄り寄り環境作りを目指したい。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6		2	・チェックの項目(職員同士の報告や反省)ができない事も多い。 ・児発管に頼っているところが大きく、個々の意欲向上と自分自身の意欲が足りていなかったと反省する。	・PDCAサイクルの理解や余裕をもって打ち合わせができるよう業務改善に努める。 ・質の高い打ち合わせができるよう、職員のスキルアップを図る。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8				
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	2			・事業所での取り組みの内容理解が不足している職員がいたため、会議等で再度、事業内容を周知していく。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		7	1	・第三者委員の体制は整っているが、外部評価は行っていない。	・必要に応じて外部評価を取り入れていきたい。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	2		・社内研修は、常に勉強になり興味深く、即現場に活かされる内容でした。	・定期的な社内研修を実践しているものの、その理解の低いスタッフがいたことを真摯に受け止め、次年度は質の向上に向けた研修を取り入れていきたい。 ・外部研修へ参加する機会が少なかつたため、外部研修に参加できるよう職員体制を整えていきたい。
適切な 支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7	1		・児発管の支援計画に基づき、実施できていた。しかし、職員の自発性がなく、自らの学びが足りていなかった。	・引き続き、アセスメントや事業所、関係機関での様子を基に計画を立てていく。 ・支援計画作成の流れの理解が低いスタッフがいたため、周知していく。
	⑪	子ども達の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7		1	・個々の特性を理解し、深く探り適切かどうか、考えられずにいた。自分自身利用はしていなかった。	・アセスメントツールについての周知の必要性を感じた。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8				
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7		1	・自分の支援は、支援計画に沿った適切な支援だったか反省がある。	・原案会議やモニタリング会議内でより具体的な支援計画の周知や発達を理解した支援を考えられるようにしていきたい。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1	1	・立案する場合、個々の発案が多かった。	・支援計画や月目標などを見据えた個別のアセスメント用紙を3ヶ月に一回更新しているが、その内容を活用しての支援の組み立てが個々の判断になっているため、今後はチームで行えるようにしていきたい。
	⑮	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	8				
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	8				
	⑰	支援開始前に職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8				
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6		2	・もう少し時間を取れたら良いと思う。 ・送迎業務や清掃があり、職員全員での反省は難しい。リードの際は、しっかり全員から反省をあげてもらふ意識が必要。	・支援終了後の反省は、翌日の打ち合わせ時に行い、全体の反省は金曜日の午前中としている。 反省時間の確保も必要だが、スタッフの評価や反省の質の向上が必要だと感じるため、次年度はスタッフの育成に努める。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7		1	・事業所として、事務時間が豊富であり記録を付けることができる。 個々が時間を無駄なく使う必要がある。 ・記録はとっているが不十分であり、その日のうちの記入は難しいため翌日記入していく必要がある。	・業務改善や時間の確保に努める。
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7	1		・定期的に行われている。	・内容の理解ができていないスタッフがいるため、全体周知を行う。	
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8				
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	8				

関係機関や保護者連携関係機関や保護者との連携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害の子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				・該当しません	
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害の子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				・該当しません	
	㉒	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8				
	㉓	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		7	1	・年中児までが対象の事業所のため、小学校への移行支援はありません。	・小学校への移行支援はないが、支援センターへの移行支援は都度行っている。
	㉔	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	4			・今年度は、前期に他事業所との研修会を行う
	㉕	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		2	6	・コロナ過のため、外部との関りを自粛しております。	・コロナが収束したら、検討していきたい。
	㉖	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	2	2	4	・把握していません	・ケース会議が開催された際には、積極的に参加するようにしてきた。スタッフへの内容の周知は、その都度行っているが、より明確に知らせていけるよう努めていく。
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	1		・送迎時に会う一部の保護者意外とは難しい。	・送迎以外にも連絡ノートやLINE、電話、定期的な相談支援にて共通理解を図っている。
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	3	4	1		・今年度より親子通所を開催し、保護者と共に支援について考える時間や事業所での療育を実際に見て体験して頂く時間を設けることができた。ペアレントトレーニングについては、支援員の理解を深められるよう研修など実施していきたい。
保護者への説明責任等	㉙	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	2			・契約は、2時間程度かけて資料を基に丁寧に説明を行っているが、現場を知らないスタッフからは見えていないところなので契約に同席させるなどして、理解を深めていきたい。
	㉚	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	8				
	㉛	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8				
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	2	4		・今年度から親子通所を開始し、保護者同士の交流ができる場を設けたが、コロナ禍ということもあり、中止することが多くあった。今後は、保護者同士の交流が持てる場の提供をしていきたい。
	㉝	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8			・家庭での支援グッズを作成したり、送迎時での保護者様からの要望を聞いたりして、ニーズに合った課題提供等もしている。	
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	2			・再度、スタッフの認識を深めるために、重要事項説明書の読み合わせを行っている。
	㉟	個人情報の取扱いに十分注意しているか	8				
	㊀	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8				
	㊁	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		6	2		・保護者様の同意を得て、外部との交流を検討していきたいと思えます。
	㊂	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、発生を想定した訓練が実施しているか	7		1	・研修の実施、避難訓練の実施で共通理解を図っている。	・共通理解ができていないスタッフもいたため、次年度はより細かく認識できるよう努める。
非常時等の対応	㊃	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行っているか	8			・実施されている。	
	㊄	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	7	1			・契約時に聞き取ったり、フェイスシートに記載して頂くようにしたりしています。
	㊅	食物アレルギーのある子どもについて医師の指示書に基づく対応がされているか	5	3		・対応はしているが、医師の指示書があるかは、わからない。	・基本的にアレルギーのあるお子様へのおやつ提供はしておりません。アレルギーのあるお子様には、おやつを持参して頂き、個人のスペースにて食べて頂いています。
	㊆	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	2			・毎日の打ち合わせにて、ヒヤリハットの確認をし、事務日誌に記入して、全スタッフが把握できるようになっている。
	㊇	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8			・社内研修を実施している。	・社内研修の実施の他に、外部研修への参加を行っています。
	㊈	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	4	4			・身体拘束適正化についての事業所マニュアルの読み合わせや研修を実施してきたが、把握できていない職員も多いため、次年度はより細かい内容の研修を実施していきたい。